

239人 未来へ羽ばたく

中日本航空専門校で卒業式



中村寿志校長から卒業証書を受け取る
卒業生代表＝関市桜本町、市文化会館

中日本航空専門校(関市迫間)の本年度卒業式が16日、関市桜本町の市文化会館で行われ、次代の航空産業を担う239人が学びやを巣立った。

内訳は航空整備科152

人、航空生産科35人、エアポート・サービス科52人。3年ぶりに保護者も招いた式典で中村寿志校長は「建学の精神『技術者たる前によき人間たれ』に誇りを持ち、輝かしい未来を切り開いて」と激励した。

卒業生を代表しエアポ

ト・サービス科の里武志さん(21)が「真の実力を備えた人間になるための挑戦を続け、航空業界発展に貢献する」と決意を述べた。

同校によると、239人のうち航空整備士の国家資格に合格したのは96人。新型コロナウイルスで大きな影響があった就職状況はコロナ禍以前の水準に回復し、卒業生の内定率は99・2%に上っている。

(久松孝志)